

アーマフレックス(抗菌・防カビ仕様)

Class 0 Armaflex®

結露およびエネルギー損への対策用に設計された断熱材



■ マイクロバン(抗菌・防カビ仕様)

マイクロバン製品は、空気中の細菌・カビ・レジオネラ菌等に強力な威力を発揮します。特に、病院・老人ホーム・食品工場など、細菌・カビの発生を嫌う設備に最適で、テスト結果では、大腸菌・黄色ブドウ球菌などの抗菌作用、黒カビ・青かび等の防カビ作用があることが実証されています。

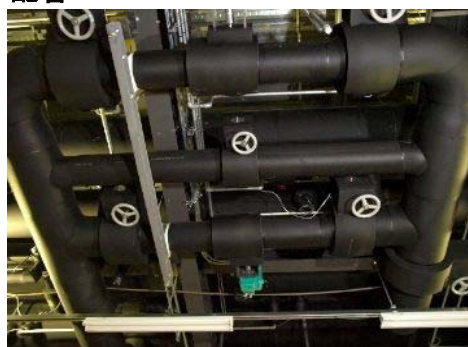
■ 製品仕様

製品名	品番	厚み mm	幅 m	長さ m	定価 円/枚	備考
ClassO	CO-06122CS	6	1.22	15	68,400	受注生産 (納期2ヶ月)
	CO-09122CS	9	1.22	10	58,600	在庫品
	CO-13122CS	13	1.22	8	62,100	在庫品
	CO-19122CS	19	1.22	6	70,400	在庫品
	CO-25122CS	25	1.22	4	62,400	受注生産 (納期2ヶ月)
	CO-32122CS	32	1.22	3	62,600	受注生産 (納期2ヶ月)

■ 用途例 ダクト

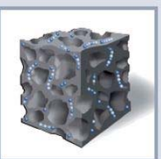


配管



MICROBAN® - 活性抗菌製品保護

Armaflex® は、MICROBAN® 技術を備えた最初の軟質断熱材です。微生物が断熱材の表面に触れた時、MICROBAN® 保護機能が微生物の細胞壁に侵入して作用し、微生物が機能し、成長し、再生することができないようにします。保護機能は製造過程で備えられるため、洗い落とされたり、徐々に消えてしまったりすることはありません。これにより、Armaflex® 製品に菌およびカビに対する保護機能が追加されます。従って、新しい抗菌 Armaflex® は、学校、病院、老人介護施設、オフィス、空港における断熱空調または空調設備や、製菓業界または食品業界の機械システムの、理想的な長期的ソリューションです。その特有のマイクロセル構造から、理想的な断熱値割合および最適な設置特性を有しています。Armaflex® で使用されている MICROBAN® 材は、米国環境保護庁に登録されています。US EPA 登録番号は 1258-840-42182 です。MICROBAN® 抗菌保護は、EPA によって配管への使用が認められています。



MICROBAN® は Microban Products Company の登録商標です。

抗菌効果試験 JIS Z2801

試験菌種：1.大腸菌

有害性：化膿性感染症、腸管感染症

2.黄色ブドウ球菌

有害性：化膿性疾患、肺炎、食中毒、敗血症

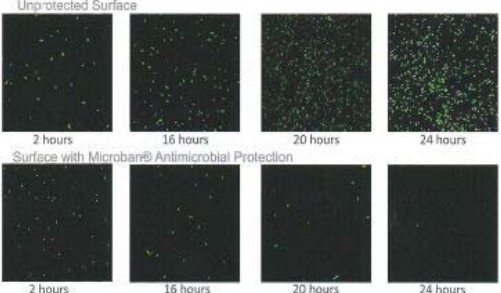
試験方法：①供試品を滅菌済みシャーレに置き(試験面=スキン層が上面)、菌液を正確に0.4ml 滴下する。
②試験液面の上からポリエチレンフィルム(40mm角)を被せ、端から液がこぼれないように注意しながら菌液がフィルム全体に行き渡るように軽く押さえつけた後、シャーレの蓋をする。
③温度35±1℃、相対湿度90%以上の環境で24時間培養する。
④対象試料上の生菌数との増減値差を対数により求める。
⑤試験の繰り返し数 n=3

試験判定：試験が成立した場合について、抗菌活性値を次式により求める。(数値は、小数点以下2桁目を切り捨て、小数点以下1桁で表わす。)

$$R = [\log(B/A) - \log(C/A)] = [\log(B/C)]$$

R：抗菌活性値
A：無加工試験片の接種直後の生菌数の平均値(個)
B：無加工試験片の24時間後の生菌数の平均値(個)
C：抗菌加工試験片の24時間後の生菌数の平均値(個)

※無加工試験片については、微生物の発育に影響がなく、吸水性のないフィルムで代用



カビ抵抗性試験 JIS Z 2911

試験菌種：1. Chaetomium globosum (ケトミウム グロボサム)

俗名：ケタマカビ 分類：子の菌類、ケタマカビ科、ケタマカビ属

有害性：木材・繊維・紙劣化、カビ毒のケトグロボシンA・B産生

2. Aspergillus niger (アスペルギルス ニガー)

俗名：クロコウジカビ 分類：不完全菌類、Aspergillus niger群

有害性：植物病原性

3. Gliocladium SP. (グリオクラジウム)

分類：不完全菌類

有害性：食品汚染

4. Paecilomyces variotii (ペシロミセス バリオットイ)

分類：不完全菌類

有害性：水質汚染、食品汚染・腐敗、日和見病原性

5. Penicillium furiculosum (ペニシリウム フニキュローザム)

分類：不完全菌類

有害性：食品汚染 以上5菌種

供試品：アーマフレックスES(40mm角×2mm厚) スキン層を試験

試験方法：①供試品を寒天培地にのせ、表面に5種類の菌を吹きかける(吹きかける量は、試験片の見かけの表面積30mm×30mmに対して0.5mlの割合とする。)
②吹きかけ後、温度26±2℃、湿度95%~99%に保った恒温器などの中に置き、4週間培養し、真菌の発育を観察する。
③試験の繰り返し数 n=3

試験判定：培養の結果、試験片の表面に生じた菌系の発育状態を肉眼で調べる。

試験結果：試験結果は、次の3段階評価で表わす。

0 = 試料または試験片の接種した部分に菌系の発育が認められない。
1 = 試料または試験片の接種した部分に認められる菌系の発育部分の面積は、全面積の1/3を超えない。
2 = 試料または試験片の接種した部分に認められる菌系の発育部分の面積は、全面積の1/3を超える。

